

平成23年度(2011年)

年間授業計画

担当教員	川原道雄 兼子 優		
教科の名称	国語		
科目の名称	国語総合(1学年)		
単位数	2単位		
目標	日本語を的確に理解し、思考力を伸ばし、自らの考えや感情を表現し、言語文化に対する関心を深める。		
学期	単元・授業内容等	時間	学習の重点・評価の観点
1 学期	<p>現代文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 随想 言葉を友人に持とう 寺山修司 ・ 小説 星の王子さま サン・テグジュペリ ・ 詩 道程 高村光太郎 ・ 春殖 冬眠 ぐりまの死 草野心平 ・ 評論 ラップトップを抱えた「石器人」 ・ 長谷川真理子 	24	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常用漢字の読み書きができるようになる。 ・ 文や文章の組み立て、語句の意味、用法および表記の仕方などを理解し語彙を豊かにする。 ・ 文章や詩の内容を的確に読みとり、自分の理解や考えが持てるようになる。
2 学期	<p>古文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 古文入門 馬と犬とのこと 伊曾保物語 ・ 児のそら寝 宇治拾遺物語 ・ 竹取物語 かぐや姫の誕生 ・ かぐや姫の昇天 ・ 伊勢物語 月やあらぬ ・ 東下り ・ 	26	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品を読んだり、与えられた課題にそって、作文が書けるようになる。 ・ 文語の決まり、訓読の決まりなどを理解する。
3 学期	<p>漢文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 漢文入門 訓読の基礎 返り点の基本 名言 ・ 中国の故事 守株 矛盾 蛇足 ・ 史伝を読む 管鮑之交 鶏口牛後 ・ 唐詩の世界 江雪 山行等 ・ 李白 杜牧 杜甫等 	20	

使用教材【教科書・補助教材・プリント等】

『新国語総合』改訂版 教育出版

平成23(2011)年度

年間授業計画

担当教員	草 淳子、兼子 優		
教科の名称	国語		
科目の名称	国語総合(2年)		
単位数	2単位		
目 標	国語を的確に理解し、思考力を伸ばし、自らの考えや気持ちなどを表現し、国語文化に対する関心を高める。		
学 期	単元・授業内容等	時間	学習の重点・評価の観点
1 学 期	現代文 ・随想「生命は」または「自分は自分だからよい」 ・小説「羅生門」または「記念写真」 ・短歌・俳句「折々のうた」 ・評論「らしさ」または「男言葉と女言葉」	24	・常用漢字の読みに慣れ 主な常用漢字が書けるようになる。 ・文や文章の組み立て、 語句の意味、用法及び表 記の仕方などを理解し語 彙を豊かにする。 ・文書の内容を的確に読 みとり、自分の考えを持 つ。
2 学 期	・戦争について考える「アイム ソーリー」または 「コルベ神父」 古文 ・歴史的かな使いについて ・詩歌「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」 から ・和歌の修辞技法について	26	・文章に書かれた人物、 情景、心情などを豊に把 握する。 ・優れた表現に接して、 自分の表現に役立てる。 ・文語の決まり、訓読の 決まりなどを理解する ・様々な文章を読んで、 ものの見方、感じ方、考 え方を広げたり深めたり
3 学 期	・漢字の学習(漢字検定対応) 漢文 ・訓読の基礎と返り点の基本 ・孔子の言葉「論語」から 学ぶこと知ること・政治・他	20	

使用教材【教科書・補助教材・プリント等】

○ 「新国語総合 改訂版」教育出版

年間授業計画

担当教員	草 淳子		
教科の名称	国語		
科目の名称	国語表現(3学年)		
単位数	2単位		
目標	日本語で適切に表現する能力を養い、コミュニケーション力を伸ばし、自らの考えや感情を表現し、社会生活を充実させる態度を育てる。		
学期	単元・授業内容等	時間	学習の重点・評価の観点
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ことばを正確に写し取り、メモを取ることを学ぶ。絵をことばにする。 随時、漢字練習を行い、本校実施の漢字検定も視野に入れて、漢字力を養う。 語彙力を伸ばす。 文章を読んで、作文あるいは小論文を書く。 文章構成法を学ぶ。 	24	<ul style="list-style-type: none"> 漢字力、語彙力が身についたか 文や文章の組み立て、レトリックなどを理解し、実践できるか。 文章や詩の内容を的確に読みとり、自分の考えや主張が、的確に表現できるか。
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> 与えられたテーマに沿って、作文あるいは感想文、小論文を書く。 文章の要約力を高める練習。 文学作品の朗読、発声練習。 随時、漢字練習を行い、本校実施の漢字検定も視野に入れて、漢字力を養う。 語彙力を高める 新聞記事を取り入れ、現代への関心を喚起する 	26	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた課題にそって、作文が書けるか。 人の前で、きちんと意見や感想が述べられるか。
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> 手紙文、事務的文章を書く。 討論会、会議、プレゼンテーションの方法を学ぶ 詩や短歌、俳句を作る 随時、漢字練習を行い、本校実施の漢字検定も視野に入れて、漢字力を養う。 新聞記事を取り入れ、現代への関心を喚起する 	20	

使用教材【教科書・プリント等】

『国語表現I』改訂版 教育出版

平成23(2011)年度

年間授業計画

担当教員	川原 道雄		
教科の名称	国語		
科目の名称	選択現代文(4年)		
単位数	2単位		
目標	近代以降の様々な文章を読み、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。		
学期	単元・授業内容等	時間	学習の重点・評価の観点
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> 随想「最初のペンギン」(茂木 健一郎) 小説「山月記」(中島 敦) 評論「マンモスの歩いた道」(池内 了) 詩歌「海への距離」(新川 和江)他 小説「ピクニックの備」(恩田 陸) 	24	<ul style="list-style-type: none"> 論理的な文章について論理の展開や要旨を的確にとらえる。 文学的な文章について人物、情景、心情などを的確にとらえ、表現を味わう。 様々な文章を読むことを通して人間、社会、自然などについて、自分の考えを深めたり発展させたりする。
2 学期	<p>「愛を言う君」 短歌十二首</p> <ul style="list-style-type: none"> 評論「生活のデザインをめぐって」(柏木 博) 小説「こころ」(夏目 漱石) 評論「夢見る力」(小栗 康平) 	26	<ul style="list-style-type: none"> 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。 目的や課題に応じて情報を収集・活用し、進んで表現する。 近代の文章や文字の変遷については、文章を読むための参考となる程度に理解する。
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> 小説「最後の一句」(森 鷗外) 評論「私の個人主義」(夏目 漱石) 	8	

使用教材【教科書・補助教材・プリント等】

○「新編現代文 改訂版」三省堂

○

○

○

平成23(2011)年度

年間授業計画

担当教員	小川 寧山		
教科の名称	公民科		
科目の名称	現代社会		
単位数	1単位		
目標	現代社会のしくみや問題を学ぶことによって社会の特質と課題について主体的に考えられる事を目標とする。		
学期	単元・授業内容等	時間	学習の重点・評価の観点
1 学期	「経済の仕組みと日本の経済」 1資本主義経済と市場 2現代の企業 3金融、財政 4貿易、国際通貨制度 5日本経済の動き	13	資本主義経済のメカニズムについて学ぶ日本経済のグローバル化と現代の企業の変容について学ぶ国際社会における日本の役割について学ぶ 評価は定期考査、出欠席状況、授業中の学習態度、提出課題等を総合的に評価の対象とする
2 学期	「日本経済の現状と課題」 1中小企業 2農業と食料 3労働問題 4社会保障 5環境問題	13	
3 学期	「国際社会と人類の課題」 1国際社会のルール 2国際連合の役割 3国際経済と国際政治、国際社会	5	

使用教材【教科書・補助教材・プリント等】

- 「新現代社会」清水書院 ○新現代社会ノート問題集 清水書院
○現代社会資料集 とうほう ○創作プリント

平成23年度(2011年)

年間授業計画

担当教員	小川 寧山・小林 克己		
教科の名称	公民		
科目の名称	現代社会(3年)		
単位数	2単位		
目標	現代社会に生活していく上で必要な政治的、経済的知識を身につける		
学期	単元・授業内容等	時間	学習の重点・評価の観点
1 学 期	第2編 憲法と日本の政治 第1章 日本国憲法の原則 第1～2項 日本国憲法の基本原則 第3～7項 基本的人権について 3項 自由権 4項 平等権 5項 社会権 6項 参政権 7項 広がりゆく人権 第8～9項 平和主義について	24	中学校の公民分野で学習した内容を踏まえて、基本的な事項を再確認する。また、社会に出てすぐに通用する知識を身に付けさせる。そのために今、現実に行き起きている政治的課題や時事問題を取り上げる。評価に関しては、3回の定期テスト、課題の提出、普段の授業に対する取り組み方、出席状況などを総合的に判断し、決定する。
2 学 期	第2章 日本の政治の仕組み 第1項 日本の政治を決める国会 第2項 国の政治を行う内閣 第3～4項 裁判所の役割 第5項 官庁の役割 第6項 政党政治と世論 第7項 選挙と政治参加 第8～9項 地方自治	26	
3 学 期	第3編 経済の仕組みと日本の経済 第1章 経済の仕組み 第1～2項 資本主義経済 第3項 現代の企業 第4項 金融のはたらき 第5項 財政 第6項 豊かさとは 第7項 貿易の拡大と経済摩擦 第8項 国際通貨制度と為替相場	20	

使用教材【教科書・補助教材・プリント等】

- 「新現代社会」改訂版 清水書院 ○「新現代社会」改訂版 ノート・問題集
○

平成23(2011)年度

年間授業計画

担当教員	小川 寧山		
教科の名称	地 歴		
科目の名称	日本史 A		
単位数	2単位		
目 標	古代からの歴史の流れを基に、明治以降の歴史を学ぶことにより現代社会における日本を理解させ、あわせて歴史的思考も培う。		
学 期	単元・授業内容等	時間	学習の重点・評価の観点
1 学 期	序章 日本の歩みをふりかえろう 古代の日本 中世の日本	24	前半は、中学校で学んだ内容を踏まえて、江戸時代中頃までの歴史の流れを大局的に学習する。これにより、この時代までの基本事項の確認を行う。
	序章 日本の歩みをふりかえろう 近世の日本 第一章 近代日本の形成と19世紀の世界 第一節 国際環境の変化と幕藩体制の動揺 第二節 明治維新と近代国家の形成		
3 学 期	第一章 近代のあゆみと国際関係 第0節 国際関係の推移と近代産業の形成 第一節 政党政治の展開と大衆文化の形成 第二節 第二次世界大戦と日本 第二章 第二次世界大戦後の日本と世界	20	

使用教材【教科書・補助教材・プリント等】

- 高等学校「日本史A」(第一学習社) ○創作プリント
○日本史のアーカイブ (とうほう) ○

平成23（2011）年度

年間授業計画

担当教員	鈴木 毅		
教科の名称	地歴		
科目の名称	地理A		
単位数	2単位		
目標	現代世界の空間的展開に関する理解を深め、地球のおよび国際的な視野によって社会を捉える力を養う。		
学期	単元・授業内容等	時間	学習の重点・評価の観点
1 学 期	1 日本地理に関する基礎的学習 2 現代日本の諸問題の地理的展開 ①災害と日本列島 ②資源・エネルギー問題 ③国際社会における日本の位置	24	はじめに、日本地理に関する基礎的事項の確認学習を行う。 続いて、現代日本の抱える諸問題に関するテーマ学習を行う 二学期以降は、世界地理の基礎的事項の確認学習を行った上 現代世界の抱える諸問題に関 テーマ学習をすすめる。
	3 世界地理に関する基礎的学習 4 現代世界の諸問題の地理的展開 ①多様な諸地域の生活文化 ②人口問題 ③食糧問題 ④資源・エネルギー問題		
3 学 期	⑤地球環境問題 ⑥国際協力と日本の課題	20	評価に関しては、年間3回の定期テスト、課題などの提出状況、普段の授業に対する取り組み方、出席状況等を総合的に判断して決定する。

使用教材【教科書・補助教材・プリント等】

○世界を学ぶ高校生の地理A（帝国書院）

○創作プリント

○新詳高等地図（帝国書院）

平成23(2011)年度

年間授業計画

担当教員	小林 克己		
教科の名称	地歴		
科目の名称	世界史A		
単位数	2単位		
目標	世界各地の歴史的事象を学ぶことによって現代のグローバル化された社会を生きる能力を培う		
学期	単元・授業内容等	時間	学習の重点・評価の観点
1 学 期	第1部 諸地域世界と交流圏 第1章 諸地域世界の特質 東アジア世界・南アジア世界 東南アジア世界・西アジア世界 古代地中海世界・ヨーロッパ世界 第2章 ユーラシアの交流圏	24	前半は、中学校での学習の内容をふまえて、19世紀までの基本的事項の確認を行う。 後半は、19世紀以前の歴史と関連づけながら、第一次世界大戦・第二次世界大戦へと向かっていった時代の流れや戦後の世界情勢などを学習する。
2 学 期	第2部 一体化する世界 第1章 アジア諸帝国の繁栄 第2章 一体化のはじまりとヨーロッパの主権国家 第3章 ヨーロッパ近代の確立 第4章 アジア諸国の変貌と日本 第5章 帝国主義時代	26	評価に関しては、年間3回の定期テスト、課題などの提出状況、普段の授業に対する取り組み方、出席状況等を総合的に判断して決定する。
3 学 期	第3部 現代世界と日本 第1章 急変する人類社会 第2章 二つの世界大戦と平和 第3章 米ソ冷戦とアジア・アフリカ諸国 第4章 地球社会への歩みと日本	20	

使用教材【教科書・補助教材・プリント等】

○改訂版「世界の歴史」 山川出版社

○創作プリント

○「世界史のミュージアム」 とうほう

2011年度

年間授業計画

担当教員	田村 俊彦、鈴木 毅		
教科の名称	数 学		
科目の名称	数 学 II (選択)		
単位数	2単位		
目 標	基礎的な知識の習得と、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばす。		
学 期	単元・授業内容等	時間	学習の重点・評価の観点
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・「方程式・敷きと証明」 <li style="margin-left: 2em;">(1) 分数式とその計算 <li style="margin-left: 2em;">(2) 2次方程式 <li style="margin-left: 2em;">(3) 高次方程式 <li style="margin-left: 2em;">(4) 式と証明 	24	標準単位が4単位のところ、2単位だけの選択なので、数Ⅱならではの内容にしぼって重点的に取り上げる。
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・「微分と積分」 <li style="margin-left: 2em;">(1) 微分係数と導関数 <li style="margin-left: 2em;">(2) 導関数の応用 <li style="margin-left: 2em;">(3) 積分 	26	数学への関心、学習意欲があるかどうか、および数学的な考察ができて活用する態度があるかに重点を置き評価する。
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・「図形と方程式」 <li style="margin-left: 2em;">(1) 座標と直線の方程式 <li style="margin-left: 2em;">(2) 円の方程式 	20	

使用教材【教科書・補助教材・プリント等】

- 新数学Ⅱ (東書) ○
○ ○

平成23(2011)年度

年間授業計画

担当教員	平岡 香代子(伊豫田 可奈子)・石川 佐代美		
教科の名称	理科		
科目の名称	理科基礎		
単位数	2		
目標	科学と人間生活とのかかわり、自然の探究・解明や科学の発展の過程について、観察、実験などを通して理解させ、自然科学への興味・関心を高め、基本的な見方・考え方を学ぶ。		
学期	単元・授業内容等	時間	学習の重点・評価の観点
1 学期	ガイダンス・理科基礎について 科学のはじまり 物質の成り立ち 原子分子の探求 元素 物質の分類 原子と分子	24	【学習の重点】 ・著名な研究者や実験を再確認しながら、基本的な自然現象の法則や規則がどのように発見されたかを学ぶ。 ・中学までの理科の基本概念を復習し、高校の理科の特に化学・生物分野についての人間生活に関連したところの基本を学ぶ。
2 学期	物質の合成 合成物質 物質の成分を取り出す ナイロン・ビニロン 合成物質と環境	26	・安全に気をつけた演示実験や生徒実験を取り入れながら、理解を深める。 ・身の回りにある物質や現象をとりあげるようにし、科学に対する興味・関心を高めるとともに科学的思考を育てる。
3 学期	生命を探る 細胞 細胞膜 自然発生説とその否定 進化	20	【評価の観点】 ・定期考査；5回 ・授業内テスト；数回 ・提出物；プリント・レポート ・実験・授業への参加度（詳しくは授業で行うガイダンスにて説明する）

使用教材【教科書・補助教材・プリント等】

○教科書：理科基礎（数研出版） ○授業はプリント形式

平成23(2011)年度

年間授業計画

担当教員	平岡 香代子(伊豫田 可奈子) ・ 石川 佐代美		
教科の名称	理科		
科目の名称	化学I(3年選択)		
単位数	2		
目 標	化学的な事物・現象について簡単な実験や観察を行い、 基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な自然観を育成する。		
学期	単元・授業内容等	時間	学習の重点・評価の観点
1 学期	<p>ガイダンス・化学とは・実験操作の基礎(2)</p> <p>第1部 物質の構成</p> <p>物質の成り立ち(3)</p> <p>原子の構造と結びつき(3)</p> <p>物質の量(6)</p> <p>実験(10)</p> <p>砂糖と食塩の違い、炎色反応、イオンの移動、食塩水の蒸留、インクのクロマトグラフィ、分子模型をつくる、気体の分子量の測定(2) 化学変化の量的関係(2) 等</p>	24	<p>【学習の重点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・化学の基本的な概念を中心にそれに関連した実験を行い、内容を定着させる。 ・身近な物質や現象をとりあげるようにし、科学的思考を楽しみながら育てる。 ・実験においては、安全に気をつけながら、化学実験の基本的操作を身に付ける。 <p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 3回 ・提出物(毎回の実験・授業でレポート・プリント提出有り) ・実験・授業への参加度(詳しくは授業で行うガイダンスにて説明する)
2 学期	<p>第2部 物質の変化</p> <p>化学反応と熱(1)</p> <p>酸と塩基(1)</p> <p>酸化還元反応(2)</p> <p>第3部 無機物質</p> <p>非金属元素の性質(2)</p> <p>金属元素の性質(2)</p> <p>実験(18)</p> <p>反応熱の確認、カイロの作成、酸と塩基の性質を調べる、pHを測定する、塩の水溶液の性質を調べる、紫キャベツを使ったpH測定、酸化還元反応をためす、酸化剤と還元剤のはたらきを調べる、電池をつくる、水溶液を電気分解する、ヘスの法則、食酢中の酢酸の定量、塩化水素を発生させる、アンモニアを発生させる、酸化カルシウムと水を反応させる、アルミニウムの反応を調べる、Fe²⁺とFe³⁺の反応を調べる、Cu²⁺の反応を調べる、Fe³⁺、Cu²⁺、Ag⁺を分離する、ハロゲンの性質、アルカリ金属とアルカリ土類金属の性質、金属イオンの分離等</p>	26	
3 学期	<p>第4部 有機化合物</p> <p>有機化合物の特徴と分類(2)</p> <p>酸素を含む脂肪化合物(2)</p> <p>芳香族化合物(2)</p> <p>実験(14)</p> <p>ヘキサンの性質を調べる、エチレンを発生させる、アセチレンを発生させる、アルコールの性質を調べる、アセトアルデヒドを発生させる、ホルマリンで銀鏡反応を試す、酢酸エチルを合成する、ニトロベンゼンを合成する、フェノールの性質を調べる、アニリンの性質を調べる、セッケンをつくる、サリチル酸の生成と反応、有機化合物の分離等</p>	20	

使用教材【教科書・補助教材・プリント等】

○教科書：新編 化学I(啓林館) ○授業はプリント形式

平成23年度(2011年)

年間授業計画

担当教員	西 慶悟		
教科の名称	理科		
科目の名称	理科総合A		
単位数	2		
目標	物理を中心に基礎的事項を学習する		
学期	単元・授業内容等	時間	学習の重点評価の観点
1 学期	放射線の正体、性質、応用 放射線発見からの歴史的経過を追いながら、その実体は何なのか、どのような特徴があるのかを学習する。また、実験などを通し、定量的な理解も深められるようにする。	24	毎時間、欠席遅刻をしないで、授業真面目に取り組んでいるか。 実験を真面目に取り組み、レポートを提出するか。 テストで学習したことが理解され、点を取れるか、
2 学期	力、摩擦、運動、速度、加速度、ニュートンの法則 授業、実験、視聴覚教材を通して、力や運動、ニュートンの法則の基本的な項目を学習する。	26	
3 学期	仕事、エネルギー、温度と熱、宇宙の法則 授業、実験、視聴覚教材を通して、上記の基本的な項目を学習する。	20	

使用教材【教科書・補助教材・プリント等】

○ 改訂理科総合A (第一学習社)

○

○

○

平成23年度(2011年)

年間授業計画

担当教員	西 慶悟		
教科の名称	理科		
科目の名称	物理 I		
単位数	2		
目標	物理を中心に基礎的事項を学習する		
学期	単元・授業内容等	時間	学習の重点・評価の観点
1 学期	放射線 現在必要不可欠となっている放射線に関する基礎的な知識理解、及びその功罪を深く学習する。	24	毎時間、欠席遅刻をしないで、授業真面目に取り組んでいるか。 実験を真面目に取り組む、レポートを提出するか。テストで学習したことが理解され、点を取れるか、 物理に関する課題を見つけ、自分で基本的な項目を調べ、解決する能力を付けさせることができるか。
2 学期	仕事、エネルギー、温度と熱、波動、宇宙の法則 課題研究 授業、実験、視聴覚教材を通して、上記の基本的な項目を学習する。2年の学習を発展させる。	26	
3 学期	波動 音や光といった普段から身の回りに存在する事柄を題材に、波動現象の特徴を学習する。	20	

使用教材【教科書・補助教材・プリント等】

○改訂新物理(第一学習社)

○

○

○

平成23年度(2011年)

年間授業計画

担当教員	岩野 睦、 其部 昇、 新宮 富美子		
教科の名称	英語		
科目の名称	オーラルコミュニケーションⅠ		
単位数	2単位		
目 標	異文化を理解し外国人と意思の疎通を図る能力を英語学習を通じて養う。		
学期	単元・授業内容等	時間	学習の重点・評価の観点
1 学 期	1. Introduction & Greetings 2. Asking Permission 3. Suggestions 4. Questions 5. Telling Time	24	英語を聞いてその内容を理解し、場面や目的に応じて発話する。 自分の関心のあることについて相手に質問したり相手の質問に答えたりする。
2 学 期	6. My Daily Schedule 7. Weekend Plans 8. My Horoscope 9. Hobbies 10. Fast Food 11. Directions	26	情報や自分の考えを場面や目的に応じて相手に伝える。 聞いたり読んだりして得た情報を自分なりにまとめて発表する。他の生徒が発表したものを聞き取り理解する。
3 学 期	12. Talking on the Phone 13. Volunteer Activities 14. Taking the Subway 15. Shopping for Sukiyaki 16. Sports	20	諸外国の文化、習慣、価値観に親しみ理解を深めたり、聞く力を養うためにビデオソフト等を鑑賞する。 以上の諸点について日常の授業とテストを通じて評価を行う。 習熟度別クラスにおいては、初級クラスでは基礎的な英語の表現や内容の定着を図り、上級クラスではより発展的な内容も扱う。

使用教材【教科書・補助教材・プリント等】

○ Revised Expressways Standard Edition I 開隆堂

平成 23 年度 (2011 年)

年間授業計画

担当教員	岩野 睦 其部 昇 新宮 富美子		
教科の名称	英語		
科目の名称	英語 I		
単位数	2 単位		
目 標	日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり、書いたりして伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。		
学 期	単元・授業内容等	時間	学習の重点・評価の観点
1 学 期	L.1 Our Earth: あらゆる生命が共存する地球 L.2 Wetlands: 鳥だけでなく人間にも欠かせない 湿地帯の重要性 L.3 Languages in Malaysia: マレーシアで使われている多様な言 語の実態 L.4 Wind—a 'New' Power: 風力発電の有用性と自然エネルギー への期待	24	1. be動詞と一般動詞 2. 疑問文と進行形 3. 助動詞と There is... 4. 過去時制 5. S+V+O+O 6. S+V+O+C 7. 不定詞と形式主語 8. 動名詞 9. 現在完了 10. 受け身 11. 関係代名詞
2 学 期	L.5 Women's Day and Teacher's Day: ベトナムの学校行事 L.6 Trees, Rivers and the Sea: 樹木・川・海の密接な関係から見る 各々の役割 L.7 Happy Birthday to You!: 誕生日祝いに纏わるブルガリアと韓 国の習慣 L.8 Oki, an Ainu Musician: アイヌの演奏家の沖さんが持つ民族 の誇り	26	以上の項目をエッセイや 説明文、物語、及び会話 文の中で、文脈に合わせて 理解できているか。 同項目を必要に応じてラ イティングや会話に応じ て使うことができるか。 必要に応じてDVDやVHSな どの視聴覚教材を通して 外国の文化・風俗・習慣 に触れ、それらに対する 理解を深める。
3 学 期	L.9 Footpaths: イギリスのfootpathsに見る自然との 共存 L.10 Finding My Way: 女優忍足亜希子さんの苦悩 と挑戦 L.11 Landmines: 黒柳徹子さんに聞く地雷の悲劇と 私たちの使命	20	習熟度別クラスにおい ては、初級クラスでは基 礎的な英語の表現や内容 の定着を図り、上級クラ スではより発展的な内容 も扱う。

使用教材【教科書・補助教材・プリント等】

○ Vista English Series I (New Edition)

平成 23 年度 (2011 年)

年間授業計画

担当教員	新宮 富美子		
教科の名称	英語		
科目の名称	英語 I (3年選択)		
単位数	2単位		
目標	身近な話題について、英語を聞いたり、話したりして、情報を理解し、伝える基礎的な能力を養うと共に、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。		
学期	単元・授業内容等	時間	学習の重点・評価の観点
1 学期	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction 2. Would you like chicken or fish? 3. Can I have your passport, please? 4. Can I check my e-mail? 5. Are you ready to order? 6. Where's the station? 7. Can I use my card in this ATM? 8. Do you have a non-smoking room? 	24	<p>英語を聞いて、その内容を理解すると共に、場面や目的に応じて適切に反応する。</p> <p>関心のあることについて相手に質問したり、相手の質問に答えたりする。</p>
2 学期	<ol style="list-style-type: none"> 1. My Summer Holiday 2. I have a stomachache. 3. I'm from Japan. 4. What time does it start? 5. Have you been to the islands? 6. I really like rugby. 7. Where should we meet? 8. I'd like to send this to Japan, please. 9. Christmas in Canada. 	26	<p>情報や考えなどを、場面や目的に応じて適切に伝える。</p> <p>聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどをまとめ、発表する。また、発表されものを理解する。</p>
3 学期	<ol style="list-style-type: none"> 1. My Winter Holiday 2. We're staying five more days 3. I lost my bag! 4. Which bus goes to the airport? 5. What do you like the best 	20	<p>外国人指導員や視聴覚教材を通して、異国の文化や風俗・習慣に触れて理解を深め、聞く力を養う。</p>

使用教材

○ Passport 1 (Oxford Univ. Press) ○ プリント

平成23年度(2011年)

年間授業計画

担当教員	其部 昇		
教科の名称	英語		
科目の名称	英語 I (4年選択)		
単位数	2単位		
目標	2年次で学習した英語 I の復習をし、応用として長文を読解する。		
学期	単元・授業内容等	時間	学習の重点・評価の観点
1 学期	<p>Lesson 8 Oki, an Ainu Musician 日本社会の中で少数民族アイヌの一人が長い苦悩の後、アイヌの伝統音楽により誇りを獲得する物語。</p> <p>Lesson 9 My Country, My Football Team! サッカーの話題からイギリスはそれぞれ固有の文化を持つ4つの国から成る連合王国であることを知る。</p>	19	<p>単語の読み・書き、語句の意味の習得、本文の読み。 英文和訳、和文英訳、 文法説明・練習など。</p>
2 学期	<p>Lesson 10 Finding My Way 障害者と健常者とがより深く理解し合い、共にチャレンジすることによって未来を切り開いていく楽しみがあることを学ぶ。</p> <p>Lesson 11 Landmines 地雷の恐ろしさを知り、その撤去、廃絶への努力の大切さを確認する。</p>	20	
3 学期	<p>Lesson 12 The Bus Boycott 公民権運動のきっかけともなったアラバマ州のバスボイコットを、1人の女性の勇気と5万人の人々の勇気の両面から考える。</p>	6	<p>年間3回の考査、日常の授業における態度・意欲などを基礎に、個々の能力に応じて判断する。</p>

使用教材【教科書・補助教材・プリント等】

○ VISTA I (三省堂)

○ 数種の長文問題集とプリント類

平成23年度(2011年)

年間授業計画

担当教員	岩野 睦		
教科の名称	英語		
科目の名称	オーラルコミュニケーションI (4年選択)		
単位数	2単位		
目標	身近な話題について、英語を聞いたり、話したりして、情報を理解し、伝える基礎的な能力を養うと共に、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。		
学期	単元・授業内容等	時間	学習の重点・評価の観点
1 学期	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction 2. There's a nice apartment 3. Requests 4. Uniforms 5. Choices 6. Which one? 7. Can you help me? 8. Asking for assistance 	19	<p>英語を聞いて、その内容を理解すると共に、場面や目的に応じて適切に反応する。</p> <p>関心のあることについて相手に質問したり、相手の質問に答えたりする。</p>
2 学期	<ol style="list-style-type: none"> 1. Summer Holidays 2. Every day 3. A questionnaire 4. Leisure time 5. My Halloween Memories 6. Personal information 7. Thanksgiving Day 8. In the office 9. Talking about the past 	20	<p>情報や考えなどを、場面や目的に応じて適切に伝える。</p> <p>聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどをまとめ、発表する。また、発表されものを理解する。</p>
3 学期	<ol style="list-style-type: none"> 1. An accident 2. What have you done 3. Valentine's Day 4. Something, nothing, anything 5. Special occasions 	6	<p>外国人指導員及びDVD・VHSなどの視聴覚教材を通して、異国の文化や風俗、習慣に触れそれらについての理解を深める。</p>

使用教材【教科書・補助教材・プリント等】

○ American Streamline (Oxford Univ. Press) ○ プリント

年間授業計画

<3年生>

担当教員	大貫 良子		
教科の名称	外国語		
科目の名称	中国語		
単位数	2単位		
目標	簡単な中国語の会話ができるようになる。中国の文化史等(画)に対する関心を示める。		
学期	単元・授業内容等	時間	学習の重点・評価の観点
1 学期	4月 発音 (声調 母音・子音・ピンイン)	6h	学習の重点
	5月 第1課 是の文 (否定と疑問)	6h	・発音
	6月 第2,3課 動詞の文	6h	・簡体字
	7月 第4課 形容詞の文	6h	・会話 ・聞き取り
2 学期	9月 第5課 完了を表わす文	6h	・文法
	10月 第6,7課 数字と日付・時刻	8h	評価の観点
	11月 第8,9課 過去の経験	6h	出席・授業態度
	12月 第10課 反復疑問文	6h	単語テスト 定期テスト(念読書) (筆記)
3 学期	1月 第11課 助動詞“能”と“会”	8h	
	2月 第12課 比較表現	8h	
	3月 まとめ	4h	

使用教材【教科書・補助教材・プリント等】

○「中国語はじめての一步」○
(白水社)○

年間授業計画

<4年生>

担当教員	大曾 良子		
教科の名称	外国語		
科目の名称	中国語		
単位数	2単位		
目標	会話表現と必要な文法表現を学び、簡単な内容の自己表現の出来るようになる		
学期	単元・授業内容等	時間	学習の重点・評価の観点
1 学期	4月 P1~19 中国語の発音 声調 ピンイン他	6h	学習の重点
	5月 第1課 自己紹介・名詞・動詞	6h	<ul style="list-style-type: none"> 発音(声調、ピンイン、母音、子音等) 会話 簡体字 文法 ヒアリング
	6月 第2,3課 場所・所有と表す言葉	6h	
	7月 第4課 時間の言い方・聞き方	6h	
9月 第5,6課 趣味・年齢の聞き方	8h		
2 学期	10月 第7課 時間詞と時間量	6h	評価の観点
	11月 第8,9課 乗り物の名称・道の尋ね方	6h	<ul style="list-style-type: none"> 出席・授業態度 中国語にほぼ満足応答 自己紹介(口答も紙) 定期考査・単語テスト
	12月 第10課 買物の仕方・要求を伝える	6h	
	1月 第11課 動作の完了表現	6h	
2月 第12課 手紙の書き方	4h		
3 学期	3月 までの 総復習	4h	

使用教材【教科書・補助教材・プリント等】

- 高校生向けの中国語 ○

平成 23 (2011) 年度

年間授業計画

担当教員	栗下育子		
教科の名称	家庭		
科目の名称	家庭基礎		
単位数	2		
目標	QOLの向上を目指し、日常生活を創意工夫しながら生きる力を身につける。		
学期	単元・授業内容等	時間	学習の重点・評価の観点
1 学 期	第1学期授業時数(28)	12 16	<p>自分の一生を考える機会を与える。 ・QOLについて理解する。</p> <p>本校の生徒に共通する食生活の問題点を挙げる。生徒の体や食生活は何かを解する問題として食生活の自立を考えることとができるようになる。</p>
	<p>生涯発達と家族</p> <p>1. 生涯発達とライフステージ</p> <p>2. 青年期を生きる アイデンティティー QOL</p> <p>健康な食生活</p> <p>1. 人間と食べ物 食生活の現状と問題点</p> <p>2. 健康と食生活 栄養</p>		
2 学 期	第2学期授業時数(28)	16 12	<p>・食文化を踏まえて調理について理解する。 調理実習については、授業前よりもスキルが上がっているかをチェックする。</p> <p>本校生の特徴でもある創造力を発揮できるようにする。</p>
	<p>3. 調理技術</p> <p>4. 食文化 (調理実習)</p> <p>健康な衣生活</p> <p>1. 資源の有効利用と衣生活 資源としての被服 (不用となった布の活用)</p>		
3 学 期	第3学期授業時数(14)	4 6 4	<p>・子どもの発達＝自分の発達過程を理解する。 ・より良い家庭生活への考察ができる。</p>

使用教材【教科書・補助教材・プリント等】

- 教科書：家庭基礎（開隆堂） ○プリント
○本校図書館の関連本 ○ビデオ教材

平成23（2011）年度

年間授業計画

担当教員	鈴木 毅 ・ 小川 寧山		
教科の名称	学校設定教科		
科目の名称	奉仕		
単位数	2単位		
目標	現代社会において他人や社会に対して貢献することの意義やその具体的内容について学ぶ		
学期	単元・授業内容等	時間	学習の重点・評価の観点
1 学期	1 誰でも社会の役に立てる 2 社会問題は誰が解決するのか 3 共に生きる社会の一員となる 4 奉仕体験活動	24	社会の一員としての自己を認め、自ら果たすことのできる社会的役割について考えさせる また、多くの奉仕活動のかたに触れ、自ら取り組める課題探し、社会に役立つ人間の形をめざす。
2 学期	3 さまざまな社会貢献活動 4 ボランティア活動 5 障害者福祉活動 6 奉仕体験活動	26	評価に関しては、出席状況や業・体験学習・課題等への取 状況にもとづいて、修了の可 を判断し、通常の5段階評定 行わない。 なお、通知表の記載内容は、 状況および単位修得の可否の を記載する。
3 学期	7 自己の社会的役割について考える 8 奉仕体験活動 9 まとめ	20	

使用教材【教科書・補助教材・プリント等】

○「奉仕」テキスト（都教委作成）

○視覚障害体験器具

平成 23 年度(2011年度)

年間授業計画

担当教員	片岡礼二 寺林久海 講師2名	
教科の名称	保健体育科	
科目の名称	体育	
単位数	1・2・3年=2単位 4年=1単位	
目標	スポーツを通して積極的に取り組む姿勢と協調性を育む。 スポーツを通して社会に出ても逞しく生きていく精神力と忍耐力を育む。	
学期	単元・授業内容等	学習の重点・評価の観点
1 学期	別紙参照	学習の重点 バスケットボール、バレーボール、サッカー、バドミントン、卓球(球技種目)…基礎技能の習得とルールを理解
2 学期	別紙参照	評価の観点 ・見学、欠席、遅刻がなく授業に参加することができたかどうか。 ・運動の特性を理解するとともに基礎技能が習得できたかどうか。 ・授業に積極的に参加し、自己の運動レベルの向上ができたかどうか
3 学期	別紙参照	・他者と協調し、楽しく運動できる雰囲気を作ることに貢献できたかどうか

使用教材【教科書・プリント等】

○保健体育 大修館書店

平成 23 年度 (2011年度)

年 間 授 業 計 画

担当教員	片岡礼二 寺林久海 講師2名		
教科の名称	保健体育科		
科目の名称	保健		
単位数	1・2年=1単位		
目 標	生涯にわたり健康的な生活を送ることができる基礎知識を身につける。		
学期	単元・授業内容等	授業時数	学習の重点・評価の観点
1 学 期	1. 国民の健康水準と疾病構造の変化 2. 健康の考え方と成り立ち 3. 健康に関わる意志決定と行動選択 4. 保健活動と健康 5. 生活習慣病とライフスタイル 6. 運動と休養 7. 応急手当の意義と手順 8. 応急手当の方法	12	学習の重点 健康・環境に興味を持ち、生涯にわたって健全で健やかな生活を送る基礎知識を身につける。
2 学 期	9. 喫煙と健康 10. 飲酒と健康 11. 青少年の喫煙・飲酒行動とその要因 12. 喫煙・飲酒対策 13. 医薬品と健康 14. 薬物乱用と健康 15. 薬品乱用の防止 16. 感染症の異変と予防 17. エイズなどの性感染症の予防	12	評価の観点 ・欠席、遅刻がなく授業に参加することができたかどうか。 ・健康に関する基礎知識が習得できたかどうか。 ・授業に積極的に参加し、自己の知識の向上ができたかどうか。
3 学 期	18. 欲求と適応機制 19. 心身相関と健康 20. 現代社会とストレス 21. ストレスへの対処法 22. 自己実現 23. 交通事故の現状と原因 24. 人間の行動と交通安全 25. 安全な交通社会作り	8	・決まりを守り、けじめを持って真剣に授業に取り組めたかどうか。

使用教材【教科書・プリント等】

○保健体育 大修館書店

学期		1					2					3		
月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
行事		1年オリエンテーション	修学旅行	体育祭	合宿前検診	クラブ合宿	球技大会		プール掃除					
		定期健康診断	スポーツテスト	遠足					工芸祭					
1年	男	オリエンテーション	スポーツテスト	バスケットボール			バレー・バスケ	バドミントン	持久走	サッカー		持久走		
	女			卓球	ドッジボール				持久走	バスケットボール	持久走			
	男女隔週			水泳										
	授業数	4	6	8	2		8	6	4	6	4	6	6	
2年	男	オリエンテーション	スポーツテスト	バスケットボール			バレー・バスケ	バドミントン	持久走	サッカー		持久走		
	女			卓球	ドッジボール				持久走	バスケットボール	持久走			
	男女隔週			水泳										
	授業数	4	6	8	2		8	6	4	6	4	6	6	
3年	男	オリエンテーション	スポーツテスト	バスケットボール			バレー・バスケ	バドミントン	持久走	サッカー		持久走		
	女			卓球	ドッジボール				持久走	バスケットボール	持久走			
	男女隔週			水泳										
	授業数	6	6	6	2		6	8	8	4	6	6	4	
4年	男	オリエンテーション	スポーツテスト	バスケットボール			バレー・バスケ	バドミントン	持久走	サッカー				
	女			卓球	ドッジボール				持久走	バスケットボール				
	男女隔週			水泳										
	授業数	3	3	4	2		3	4	4	1	3			

平成23年度

年間授業計画

担当教員	佛 淵 静 子		
教科の名称	芸術		
科目の名称	美術工		
単位数	2		
目 標	美術を鑑賞する心、観察する目を養う		
学 期	単元・授業内容等	時間	学習の重点・評価の観点
1 学 期	<p>静物 テキサン</p> <ul style="list-style-type: none"> 鉛筆、画用紙で素描をする。 (りんご、石膏、ビン等) 	16	<ul style="list-style-type: none"> 対象をきちんと観察できているか。
2 学 期	<p>色面構成</p> <ul style="list-style-type: none"> 色彩について学ぶ ホスターカラー、ケト紙で、与えられた条件で色面分割をする。 	18	<ul style="list-style-type: none"> 用具の使い方、技法を理解し、1つずつ行程を経て、作品を完成させたことができたか。
3 学 期	<p>色鉛筆による人物画</p> <ul style="list-style-type: none"> 色鉛筆で、自画像を描く。 過去の美術作品にふれ、それに学ぶ 	12	<ul style="list-style-type: none"> 課題にきちんと向かい合い、魅力的な作品を作ることができたか。

使用教材【教科書・補助教材・プリント等】

年間授業計画

担当教員	松岡久恵		
教科の名称	芸術		
科目の名称	書道Ⅰ		
単位数	2		
目標	様々な書体を学び表現能力を向上させる。		
学期	単元・授業内容等	時間	学習の重点・評価の観点
1 学期	ペン習字の基礎を学ぶ 九成宮醜泉銘の臨書 雁塔聖教序の臨書 孔子廟堂碑の臨書	24	字形の整え方、 筆順に注意する。 背勢と向勢の 字形の特徴を身 につける。
2 学期	蘭亭序の臨書 風信帖の臨書 曹全碑の臨書	26	王羲之の作品を通 じ行書の特徴的 筆使いを身につける。 字形、藏鋒、波磔 などの隷書の筆使 いを身につける。
3 学期	平仮名、変体仮名の習得 高野切の臨書 蓬萊切の臨書 漢字仮名交じり文	20	仮名の成立や字源 について理解を深 める。線質や連綿 の美しさを表現する。 漢字と仮名の調和 を図る。

使用教材【教科書・補助教材・プリント等】

-
-
-

年間授業計画

担当教員	松岡久恵		
教科の名称	芸術		
科目の名称	水墨画		
単位数	2		
目標	墨の濃淡で植物の美しさを表現する。		
学期	単元・授業内容等	時間	学習の重点・評価の観点
1 学期	基本の描法を学ぶ 春蘭を描く 蕙蘭を描く アヤメを描く	24	墨色の濃淡を上手に使わせる。 墨色の美しさを生かす筆への墨の含ませかたと筆の運び方を習得させる。 南画の基本となる四君子の筆致を習得させる。
2 学期	竹を描く 菊を描く ボタンを描く	26	
3 学期	椿を描く 梅を描く	20	

使用教材【教科書・補助教材・プリント等】

○
○○
○